

## 戦争について思った事

古堅南小学校 6年 宮城百香

私は、学校で戦争のビデオを見ました。

沖縄に戦争が来て、アメリカ軍がばくだんを落とし、ばくはつしました。すると、あたりいちめんが、けむりや火でいっぱいでした。

小さな子供やお年よりのひとたちは、亡くなってしまった人をとびこえて走って火の中を走ってとっても、勇気が必要なんだと思いました。戦争では、何も悪い事はしていません。戦争で命をおとしてしまう人がいっぱいいて、本当に戦争はやってはいけない事です。

じっさいに、昔の人が自分たちがいること日本で戦争をしたということを聞くと、こんなみじかな人が戦争をけいけんしています。

戦争をすると、あいての国も死亡する人がいるし、人をころさなくてはいけないことがらか、とっても悲しいし、ころす人も死んでいく人も苦しいし、つらいと思いました。

また、赤ちゃんをつれてにげる人や、数人の子供をつれてはぐれないようにしたり、目の前でばくだんがおちたところや、人が死んでいくところを見ると、とっても悲しく、苦しくなると思います。

チビチリガマにも数名の人がかくれて死んだと聞いたりしました。とっても悲しい話でした。

昔の人々は、戦争でけがをしたり、病気をしたりしてとっても痛かったり、苦しかっただろうし、小さい子やお年寄りも、みんなと一緒に走りにくく、お母さんやお姉ちゃんも、赤ちゃんをだっこしたり、手をつないで走ることは大変だったと思います。五才ぐらいの子供が0才ぐらいの子供をおんしていてお母さんのにおいながらにげていたんだなあとびつくりしました。くつやぞうりをはかないで、はだしではしつてにげた人もいたそう、とつてもいたそうでした。

沖縄では、空からばくだんを落として、ア

メリカ軍が、けんじゅうをもってきて、お墓などにかくれている人などを呼んだりしていたそうです。目の前でねんじゅうを、自分にむけられて、こわかったと思います。

なぜ、いまでも「世界にいるのに国と国どうしが争ったりして、戦争になるのか。せんそうをしても死んでいく人たちが、たくさんいるし、だから戦争はやってはいけないと思います。

私は、戦争の全ての人々が仲良くして、平和であってほしいです。